

4/29~5/5

沖縄こどもの国 フェスティバル 2022



ゴールデンウィークイベント「沖縄こどもの国フェスティバル2022」が開催されました。

復帰50周年の節目に開催されたステージイベントは「こどもたちが輝く舞台」をキーワードに出演者を募り、フラダンスやチアダンス、新体操、吹奏楽のほか、空手やテコンドーなど様々なジャンルで頑張るこどもたちが出演し、家族やたくさんの観客が見守るなか、楽しみながら精一杯練習の成果を披露していました。

こどもの日は、お母さんに感謝する日、勇気を出してステージからメッセージを届けようの企画では、小学校5年生

の男子児童が「いつも家事をしてくれてありがとう。お母さん大好き」と、観客席のお母さんへ想いを込めたメッセージを届け、こどもの国スタッフ手作りのカーネーションをお母さんへ手渡しました。

乗馬体験やエサあげ体験、バンジートランポリンの会場では、お父さんやお母さんがスマホを片手にこどもたちの笑顔を撮影していました。

ワンダーミュージアムでは、工具を使って好きな模様を刻印する「トントンメダルづくり」など、親子と一緒に夢中になる姿が見られました。



4/15



天井にワニ!? 新エリアオープン

各種ワニや初展示となるコツメカワウソなど、熱帯に生息する多くの動物が観覧できる複合展示施設の落成式および内覧会が、沖縄こどもの国で開催されました。

天井水槽を泳ぐワニを下から見ることができ、園路をまたぐケージを行き来するジャガーや間近で見られるオオアリクイなど、多くの見どころを備えた展示空間となっています。

施設を観覧した親子は「ワニが下から見れてびっくり。遺跡みたいな造りもよかった」と笑顔で話しました。

4/27



大空いっぱい幸せのこいのぼり

沖縄こどもの国で手作りこいのぼり掲揚式が開催されました。「Happy」をテーマに、県内の保育園やこども園30団体のこどもたちが手作りのこいのぼり約220匹が、ヘリコプター前広場に展示されています。

沖縄こどもの国の神里園長は「みなさんが一生懸命作ったこいのぼりは、世界に一つしかありません。元気に泳ぐこいのぼりを、家族揃って見に来てください」と園児たちに呼びかけました。園児たちは、手作りこいのぼりが大空にはためく様子を嬉しそうに指さし、広場は元気な笑顔であふれました。

4/26



こいのぼり掲揚式☆2022

こどもたちの健やかな成長を願う「沖縄市こいのぼり掲揚式」が市役所前市民広場にて開催されました。

胡屋あけぼの保育園と諸見幼稚園の園児が参加し、代表園児が力いっぱいロープを引いてこいのぼりを掲揚。空に元気に泳ぐこいのぼりのもと園児がダンスをお披露目すると、広場は温かな拍手に包まれました。

桑江市長は「皆さんは沖縄市の宝です。コロナに負けないうで、元気に過ごそうね」と笑顔で園児にメッセージをおくりました。

4/23



車椅子ソフトボール強化試合!

昨年12月に、県内初の車椅子ソフトボール体験会が日本車椅子ソフトボール協会主催で行われましたが、それから4か月後には沖縄のチーム「ワイルドキャッツ」が発足し、モータースポーツマルチフィールドにおいて、強化試合が行われました。

誰もが気軽に挑戦できるスポーツとして、老若男女、障がいの有無に関係なく楽しめるスポーツで、沖縄のチームも初心者からパラリンピック車いすラグビーに出場した仲里選手も参加し盛り上がっていました。

5/6



美里中が初の栄冠! 全国大会へ

市立美里中学校男子軟式野球部が市教育委員会を訪れ、「第62回沖縄県春季中学校軟式野球大会」で優勝し全国大会へ県代表として出場することを、比嘉良憲教育長に報告しました。

キャプテンの比嘉佑真さんは「美里中が優勝できたのは、父母や地域の方々の応援のおかげです。全国大会で結果をのこせるように日頃の練習から気を引き締めて、一生懸命取り組みます」と優勝の喜びと全国大会への決意を語りました。

全国大会は、8月に横浜スタジアムで開催される予定です。



4/11



空恋 ～ 空で沖縄市に恋をする ～

株式会社ソラシドエアが実施する機体を活用した地域振興プロジェクト「空恋～空で街と恋をする～」として、市などの関係者による「ちゃんぶる～文化のまち 沖縄市へGO」の就航開始記念セレモニーが、那覇空港にて行われました。

市特別機の側面に描かれたデカールには、市花であるハイビスカスの上にエイサーキャラクターが並び、スポーツコンベンションシティを連想させる沖縄アリーナなどが描かれています。

機内では、市をPRする情報誌の搭載やオリジナルアナウンスの実施などの取り組みが行われます。

4/18



沖縄市平和大使認定式

市内の各中学校から推薦された中学2年生17人と社会人3人に、令和4年度沖縄市平和大使の認定状が交付されました。

平和への想いを未来へ受け継ぐとともに、日常的に生活の中で平和について考え、平和社会を創り上げる活動を行うことを目指し、令和3年度までに延べ532人の平和大使が、戦争の悲惨さ、命の尊さ、そして平和の大切さを学んできました。

今年度の平和大使は、沖縄の歴史や沖縄戦に関する講義を受講するほか、戦跡めぐりなどを行い、県外研修では長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列などを予定しています。

5/10



今 どこかで苦しんでいる誰かのために

毎年5月の赤十字強化月間に合わせて会員の更なる増強を図るため、市役所1階ロビーにて、沖縄市赤十字奉仕団による会員増強運動出発式が行われました。

沖縄市赤十字奉仕団の仲宗根吉子委員長は「赤十字の活動をご理解いただき、1人でも多くの方に会員になっていただけるよう、普及に努めて参ります」とあいさつしました。

與那嶺副市長より激励の言葉がおくられ、仲宗根委員長へ令和4年度会費第一号として目録が手渡されました。

4/26



こどもたちの絵本デビューを応援！

株式会社すこやかホールディングスの宮里敏行代表取締役等が、市役所を訪れ、桑江市長にブックスタートにて配布する絵本バッグ1,500個分の目録を手渡しました。

ブックスタートとは、本市が行う乳児健診の際に、乳児期に適した絵本を紹介・配布し、保護者に読み聞かせの大切さを伝える活動です。絵本を介して親子がふれあい、心を通わせる時間を持つことの大切さや、読書のきっかけを提供しています。

寄贈の絵本バッグは、健診会場にて対象となる乳児の保護者へ令和4年度より配布しています。

4/29



ボランティア清掃活動

嘉手納基地所属の空軍兵14人は、空港通り（ゲート通り）を小雨の中7時に集合し、通りの清掃活動を行いました。

今回は、嘉手納基地で勤務する多くの人々が利用する空港通りをボランティア清掃活動を通して、少しでも地域への貢献につながればと思い計画したものです。

これからも同じような機会があれば、みんなで一緒に取り組みたいと話していました。



マチイロ



マイ広報誌



子育て



健康